

# 物流生産性向上に向けた取組事例（青果・産地）

## 北海道産のスイートコーン、ブロッコリー等の夏野菜を含む青果物の輸送

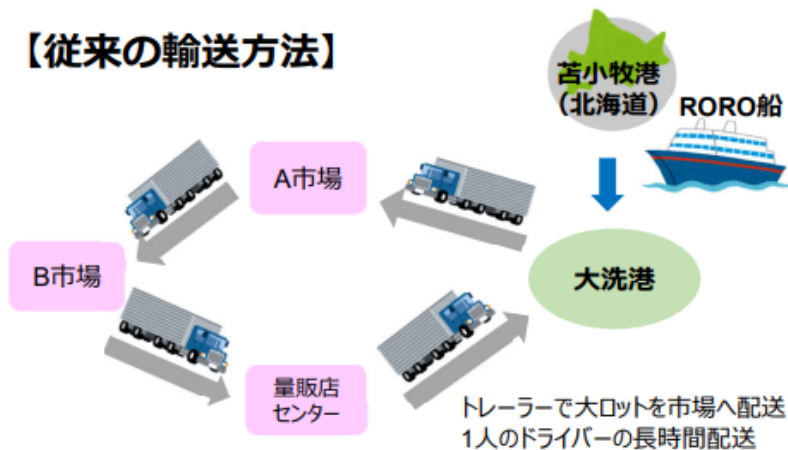
【北海道移出農産物物流検討協議会】

積載効率の向上等

モーダルシフト

- 北海道苫小牧港（RORO船利用） → 茨城県大洗港 → 関東の市場や小売店までの輸送について、  
【従来】
- 大洗港から**1台の20tトレーラーによる長距離輸送**。1人のドライバーを8.4時間拘束。  
【令和6年度からの新たな取組】
- 茨城県常総市に**中継拠点**（水海道市場）を設け、**一次配送と二次配送に切り分け**  
（一次配送：大洗港→水海道市場、二次配送：水海道市場→関東各地）  
→ **大洗港発の20tトレーラーのドライバーは一次配送を担当**（拘束時間は1～3時間に）。  
→ **二次配送は、各市場や小売店のニーズに合った荷量やトラックで、随時実施**（拘束時間は4.4時間）。
- 中継拠点では**高機能冷蔵庫で青果物を保管**。**流通可能時期を数週間延長**することが可能に。  
→ 廃棄ロスの削減に加え、夏野菜を秋にも新鮮な状態で購入できるという消費者メリットも。

### 【従来の輸送方法】



### 【新たな取組方法】

